

【未来世代法-6】 ミラセダmagazine 2024.9.29号

1件のメッセージ

未来世代法 <miraseda_magazine@futuregenerations.jp>

2024年10月11日 21:01

返信先: miraseda@futuregenerations.jp

To: miraseda_magazine@futuregenerations.jp



このメールは、『「未来世代のためのWell-being法」 日本版プロジェクト』からのお知らせメール・マガジンです。

今までに未来世代法のイベントにご参加いただいた方、ご支援をいただいている方、チームメンバーが名刺交換させていただいた方などに送らせていただいております。

どうぞよろしくお願いいたします。



直近のイベントのご案内です。

★10/24 (木) 20:00-22:00 未来世代アカデミー#15 (京都市女性活躍応援塾共催)
『京都の自治体の温暖化対策』

環境工学がご専門の歌川学先生（国立研究開発法人産業技術総合研究所主任研究員）に、海外と日本の脱炭素先進事例のご紹介や、京都府下の自治体ごとの脱炭素シナリオ、エネルギー構造のご報告、省エネの可能性などについてお話いただきます。

今回は京都府の事例報告をお願いしていますが、『自治体ごとのエネルギーレポート』というのがどういうものか、ぜひお聞きになってみてください。

あなたの暮らす自治体でのご報告も、きっと聴きたくなりますよ！

お申し込み；

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0tcuGgqjlqHtJf_xaoBBjHL2Q9EBNNdZwd

★10/30 (水) 20:30-22:00 未来世代アカデミー#16
『万物の黎明をひもといて、「国」について考える』

「万物の黎明」はかつて一世を風靡した、ハラリの「サピエンス全史」や、ジャレット・ダイヤモンドの「銃と病原菌と鉄」に続く、最近のポピュラーサイエンスのベストセラーです。

曰く

- ・ヨーロッパは「自由、平等」をアメリカ先住民族から学んだことを隠したのではないか？
- ・人々が真に自由であったヒエラルキー（や不平等）のない社会が、有史以前に長く存在した可能性。
- ・いま使われている「国」というシステムが幻想にすぎないとしたら？など。

大著であるため、触れられるのはほんの一部ですが、この「万物の黎明」の最もコアで衝撃的な部分を少しだけ紐解いて、「国」とはなにか、また私たちが実は潜在的に持っているかもしれない、ともに暮らすことへの豊かな可能性について対話する時間です。

案内役：前川 珠子（未来世代のためのWell-being法日本版プロジェクト）

お申し込み：

<https://peatix.com/event/4156946/view>

★11/19（火）20:00-22:00 熟議民主主義と気候市民会議の可能性

未来世代アカデミー#17（京都市女性活躍応援塾共催）

熟議デモクラシー、ファシリテーション、政治学がご専門の徳田太郎先生（VOICE and VOTE代表、ユニベルシタスつくば代表幹事）に、くじ引き民主主義、世界各地で開催されている気候市民会議について教えていただく中で、知識量や考え、価値観が違う人とどう合意をとってお互いに大切にしようことができるかという可能性について一緒に考えます。

お申し込み：

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZMuceCorD4sGNbP29E5HrfyfLJ-RTvCpUpi>

【最近の活動から】

◆京都府下のほぼ全自治体の環境政策課、カーボンニュートラル推進課を回りました◆

「京都府女性活躍応援塾」の半年間の取り組みがはじまって、気候危機・脱炭素をテーマとして、オンライン講座と、京都府内で暮らす女性たちの間で継続した対話の機会を持つ時間を続けています。

未来世代法プロジェクトを運営するNPO法人・グラスルーツは、京都市に拠点を置いているので、まず京都から、「未来世代法が日本にあるとしたら、どんなふうに地域自治体の施策の中で生かしていただくことができるか？」のモデルケースを作ろうとしています。

はじめてみて、京都市近郊の市町村の方とは、お申し込みをいただいたり、つながりがもともとあったりということができるのですが、府内でも距離のある地域の方とは知り合えるきっかけがないので、思い立って京都府下全自治体の環境政策課、カーボンニュートラル推進課などを回って、女性活躍応援塾のチラシを渡して活動のご紹介をしたり、各自治体でのカーボンニュートラルの取り組みについての様子をお伺いしたりしていると、自治体ごとの事情や状況が見えてきて、回ってよかったなーと思っています。

みなさんの自治体でも、要請行動だけじゃない、さまざまな行政担当部署とのおつきあいやコミュニケーションがあったら、ぜひ教えてください。

協議会や審議会、そしてプロのコンサル会社など、選ばれたメンバーからの意見だけではない、市民との協働の窓口が少しずつ開かれていくといいなあと思っています。

また一方で、行政の仕事のじゃまにならない、お互いに活かし合える関係のためには、市民の側にも一定の勉強や良識も必要だとも思います。

肝に命じていたいなあと思います。

◆メッセージやアンケートなどで、地域での活動をご希望いただいている方との対話がはじまっています◆

私たちは、ウェールズで2015年からはじまった「Well-being of Future Generations Act=未来世代のためのWell-being法」に学びながら、日本の地方自治体での「未来世代条例」「未来世代宣言」の制定を目指しています。

またそこに至るまでに、地方自治体のあらゆる施策の中で、●長期的視点 ●予防原則 ●情報公開 ●市民意見の政策への反映と協働 ●企業、市民、行政、部署や機関の垣根を超えた協働 の実現を目指しています。

47都道府県に、未来世代法の実効力ある実現を願って活動してくださる方、自治体議員の方とともに動けるつながりを目指して、お声をいただいた方から対話をはじめています。

現在までに、北海道、宮城県、埼玉県、山梨県、京都府、兵庫県、徳島県、香川県での活動が芽生えてきています。

あなたの街でもできるところからはじめてみませんか？

興味が湧いた方は、下記URLの賛同者フォームからコンタクトをお願いします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf8VdssfXwmSZcf5o0_YrdZJc71fLReMrxz6lObaDlaVzI-PQ/viewform

【署名のご協力をお願いします！】

「巨額の原因増設コストを国民からこっそり徴収する新たな制度 #RABモデル の導入をやめてください」

(未来世代のためのWell-being法日本版プロジェクトは、団体賛同しています)

【未来世代法の活動へのご支援をお願いします🙏】

●未来世代法の活動を、ぜひ継続的に支えてください。

出張旅費、勉強会開催費、資料書籍代、研修費など、活動には費用と時間がかかります。みなさまのご寄付で、ぜひ活動を支えてください。

どうぞよろしくをお願いします。

・クレジットカードでのお手続きはこちら (Syncable社サイトに移動します)

<https://syncable.biz/associate/grassroots/donate>

・銀行振込によるお手続きはこちら

GMOあおぞらネット銀行 法人営業部

普通 1607166 特定非営利活動法人グラス・ルーツ

※おそれいりますが、振込手数料のご負担をお願いいたします。

長いメッセージをお読みいただきありがとうございます。

このメールマガジンを、他のお友達に知らせてくださる方、また このお知らせが不要な方は、下記URLよりお知らせください。

https://futuregenerations.jp/mail_magazine_on-off/

「未来世代のためのWell-being法」日本版プロジェクト

英国・ウェールズで2015年からはじまった、Well-Being of Future Generations Act (日本語訳:「未来世代のためのWell-being法」)に知見と実践の学びの源を得ながら、地方議会に働きかけ、市民のみなさまと共に主権を育て、ボトムアップで日本独自の「未来世代法」制定を目指す市民グループです。

MAIL : miraseda@futuregenerations.jp
WEB PAGE : <https://futuregenerations.jp/>
FACEBOOK : <https://www.facebook.com/futuregenerations.jp>
Instagram : <https://www.instagram.com/futuregenerations.jp/>
動画リスト : <https://futuregenerations.jp/movie-list/>

発行：「未来世代のためのWell-being法」日本版プロジェクト
(運営団体) 特定非営利活動法人グラス・ルーツ